

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	EAFONS 2019(22nd EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCOLARS)に参加して
別タイトル	Report of the 22nd EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCOLARS.
作成者(著者)	水流添, 秀行
公開者	FD 委員会 研究推進検討会 (東邦大学健康科学部)
発行日	2019.12.01
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 2. p.31 32.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	学会レポート
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD62538185">https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD62538185</a>

## EAFONS 2019(22<sup>nd</sup> EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCOLARS)に参加して

水流添秀行

2019年1月17-18日、シンガポールのフラマリバーフロントホテルで行われたEAFONS2019(22<sup>nd</sup> EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCOLARS)に参加しましたのでご報告します。

シンガポールは年間を通して蒸し暑い、真冬の日本から脱出してちょっとしたバカンス気分になります。ただし、シンガポール国内は車内も屋内もクーラーが非常に効いており、上着は必須です。

この学術集会は、主に東南アジアの看護学系の研究者が参加する学術集会で、大学院における研究や教育についての議論が交わされる場となっています。また、参加者の半数以上が日本人であり、国際学会に初めて参加する方には比較的参加しやすい学会となっており、初めて国際学会に参加する人にはおすすめです。そのような学術集会の背景と修士課程の際の指導者からの勧めもあり、私は参加を決めました。

私は大学院の修士論文の内容の一部を用いた研究のポスター発表で参加をしました(タイトル: POST-SURGICAL EMPLOYMENT EXPERIENCES OF CANCER PATIENTS WITH PERMANENT GASTROINTESTINAL STOMA CONSTRUCTION BY MILESSURGERY「永久的消化管ストーマ造設をマイルズ手術で行ったがん患者の就労に関わる体験」)。数名の日本人の方がポスターに対して質問をして下さいましたが、海外の方と話をすることはありませんでした。国際学会に参加しているはずなのに日本の学会にいるような何とも不思議な気分でした(海外の方が質問してきた際に、英語での対応ができたかはかなり微妙ですが…)。また、発表者の研究内容は多岐に渡り、普段見ないような研究も見ることができ、勉強になりました。

東邦大学健康科学部



ポスター会場での発表

シンポジウムのテーマは、大学院でのDNP(Doctor of Nursing practice=看護実践博士)課程について、mixed methodの研究方法について、といった大学院での教育や研究に関するものでした。一緒に参加した方から聞いた話によると、DNP教育は、最近アメリカの看護系大学において、メジャーなトピックスで、日本でもその導入やCNSの高度実践力を高めるためのカリキュラムの見直しが行われているとのことでした。また研究方法の話も面白い(と思われる)内容だったのですが、自分の英語の理解力が乏しいため、話の5割程度しか理解できず、英語のリスニング力を高めていく必要性をひしひしと感じさせられました。

この学術集会に参加するまでに何度か海外は行ったことがあったのですが、ツアーでしか行ったことがなかったので、学会会場やホテルにたど

り着くのも一苦勞でした。そのようなところでも英語力の必要性を痛感させられました。

そんなこんなで私の初国際学会の参加は終了しました。国際学会に参加といえば聞こえはいいものの、シンポジウムの内容は十分理解できず、ほぼ海外の方との交流もないという、何とも言えないものとなりました。

今後は、自分の専門であるがん関連の国際学会にも参加してみたいと思いますが、そのためには1にも2にも英語の基礎力を高めていくことが必須だということを痛感しました。毎日学生の演習や実習に忙殺されている毎日ですが、少しずつでも定期的に研究活動を行い、また国際学会で発表し、国外の方ともディスカッションできるようにしていきたいと思います。

末尾になりますが、忙しい時期に国際学会に参加させていただいた健康科学部の先生方ありがとうございました。



マリーナベイサンズからの夜景